

FGFR2b陽性切除不能進行・再発の胃または食道胃接合部腺癌における臨床病理学的特徴を評価する前向き観察研究 FIREBIRD Study (WJOG18524GPS)

対象となるがん	切除不能進行再発胃腺癌、食道胃接合部腺癌
使用する薬剤	
相	
治療ライン	二次治療
実施方法(治験のデザイン)	切除不能進行・再発胃または食道胃接合部腺癌において、FGFR2b(エフジーエフアールツー)陽性の頻度と特徴を明らかにすることを目的とする
UMIN / jRCT	UMIN000056810
施設代表者	慶應義塾大学医学部 腫瘍センター 平田賢郎
研究代表者	慶應義塾大学医学部 腫瘍センター 平田賢郎
進行状況	登録中
臨床試験に参加いただける患者さんの身体状況(患者選択基準)	①組織学的に胃腺癌または食道胃接合部腺癌である ②切除不能進行・再発と診断されている ③同意取得時年齢が18歳以上 ④ECOG PS 0-2(登録時) ⑤評価可能病変を有する(測定可能病変の有無は問わない) ⑥原病の状況が以下のいずれかの条件に該当する (a) フッ化ピリミジン系薬剤を含む1次治療*を実施予定である (b) フッ化ピリミジン系薬剤を含む1次治療を実施中である (c) フッ化ピリミジン系薬剤を含む1次治療に不応(担当医判断の臨床的増悪を含む)もしくは不耐と判定され、2次治療開始前である。 *周術期に行われた薬物療法中、または終了後6ヶ月以内に再発した場合、周術期に行われた薬物療法を一次治療とする。 ⑦同意取得前2年以内(採取日が2年前の同日まで可)に採取された腫瘍組織の保存検体の提出または、新たに採取した腫瘍生検検体の提出が可能である。検体採取時の病期や化学療法歴は問わない。 ⑧本研究登録前に研究内容の十分な説明が行われた後、患者本人から文書による同意が得られている (注) 上記の患者選択基準は概要であり、上記に該当していてもこの試験に参加できないことがありますので、お問い合わせください。